

colloquium 2013

構造形態の解析と創生

Analysis and Generation of Structural Shapes and Systems

開催趣旨

近年の建築の設計プロセスにおける3D-CADやBIMの利用は、意匠、構造、設備、施工の連携を強め、また、これまで不可能であった複雑な形態の構造物も建設可能になりました。また、デジタル・ファブリケーションの技術は、今後建築のデザインを大きく変えるかもしれません。こうした背景のもと、構造形態創生、構造最適化、アルゴリズム・デザインの手法を用いた建築構造物の実施施工例が近年急速に増えています。これまで付加価値として捉えられていたこれらの手法は、今まさに現場で必要とされる技術となりつつあります。

本コロキウムは2006年度から毎年開催しており、構造形態創生、構造最適化、アルゴリズム・デザインに関する新しいコンセプトや最新のアルゴリズム、実務への応用の実態と課題、創生されたデザインなどが紹介され、活発な議論を展開してきました。本コロキウムは、今や構造形態創生、構造最適化、アルゴリズム・デザインに関する情報発信源として業界における重要な役割を担っています。本年度開催する「コロキウム構造形態の解析と創生2013」においても、構造形態創生、構造最適化、アルゴリズム・デザイン、デジタル・ファブリケーションなど、建築構造物の形態を創り出す為の理論、技術に関する最新の研究を手がける研究者、技術者が一堂に会して情報交換を行い、将来の方向性について議論することで、これらの研究・技術分野の今後の更なる発展に資することを目的とします。

日時： 10月31日(木)・11月1日(金)

会場： 日本建築学会 建築会館ホール

主催： 日本建築学会

構造委員会 シェル・空間構造運営委員会：シェル・空間構造形態創生小委員会
構造委員会 応用力学運営委員会：構造設計・解析の最適化理論応用小委員会
情報システム技術委員会：アルゴリズム・デザイン応用小委員会

参加費 建築学会会員 8,000円(資料集代含)、学生 3,000円(資料集代含)、会員外10,000円(資料集代含)

資料集代金 3,000円/冊

懇親会 参加費：一般：4,000円、学生：2,000円、会場：建築会館

参加登録 E-mailにて、「コロキウム参加」「懇親会参加/不参加」を明記し、氏名、勤務先・所属、同電話番号、E-mailアドレスを明記して申し込んでください。なお、懇親会の急なキャンセルは不可とします。キャンセルの場合には、なるべく早めにご連絡ください。

申込み・問合せ先 コロキウム事務局 E-mail アドレス：colloquium@aij.or.jp

■ 特別講演

石井恵三 (株式会社くいんと) 10月31日(木) 13:10～14:10

『有限要素法・CAE・構造最適化とソフトウェア』

豊田啓介 (Noiz Architects) 10月31日(木) 14:20～15:20

『拡張する建築：建築の情報性』

■ 形態創生コンテストプレゼンテーション・公開審査

課題 「コラボレーションによりこれまでと異なる建築のかたちを創生する」

10月31日(木) 15:30～18:30

審査委員長： 新谷真人 (早稲田大学/オーク構造設計) 審査委員： 池田靖史 (慶應義塾大学) 本間俊雄 (鹿児島大学) 久保田晃弘 (多摩美術大学)

特別審査委員： 石井恵三 (株式会社くいんと) 豊田啓介 (Noiz Architects)